



学校のこれから通信 (高森台中学校区)

No.1

(発行) 令和8年2月4日
春日井市教育委員会事務局 学校教育課
TEL : 0568-85-6149
Mail : gakko@city.kasugai.lg.jp

市では、子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、互いに認め合い、協力し合いながら成長し、社会性を身に付けていくためには、一定の学校規模を確保することが望ましいと考えています。

今後、子どもたちの数の減少により標準的な規模を下回る学校が増えていくことが想定される中、坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台の5つの中学校区にある学校について、学校の適正規模や適正配置の検討を進めています。

この通信では、高森台中学校区における取組の進捗状況などを随時、お伝えしていきます。

高森台中学校区の現状と市の考え方

各小中学校の児童生徒数は、下図のとおり減少していくと推計しています。それに伴い、各学校の学級数も減少していきます。

【高森台中学校】

生徒数は、昭和58年度の1,282人をピークに、令和19年度では、**88.5%減少の148人**と推計しています。

学級数は、令和7年度では全ての学年で3学級ですが、令和19年度では全ての学年で2学級と推定しています。

【高森台小学校】

児童数は、昭和54年度の1,533人をピークに、令和13年度では、**86.8%減少の203人**と推計しています。

学級数は、令和7年度では1年生と6年生は1学級、それ以外の学年は2学級ですが、令和13年度では**1年生、3年生、5年生、6年生が1学級、2年生と4年生が2学級**と推定しています。

【中央台小学校】

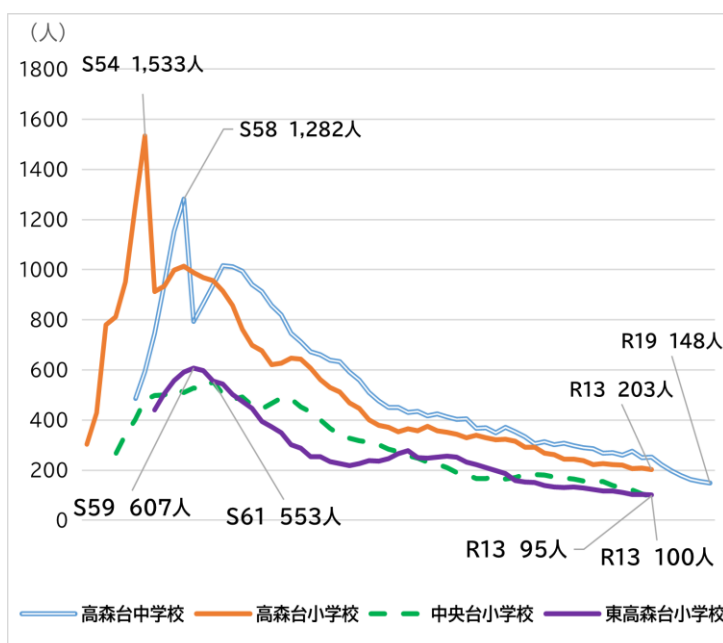
児童数は、昭和61年度の553人をピークに、令和13年度では、**82.8%減少の95人**と推計しています。

学級数は、令和7年度では全ての学年で1学級であり、令和13年度においても**全ての学年で1学級**と推定しています。

【東高森台小学校】

児童数は、昭和59年度の607人をピークに、令和13年度では**83.5%減少の100人**と推計しています。

学級数は、令和7年度では全ての学年で1学級であり、令和13年度においても**全ての学年で1学級**と推定しています。



図：高森台中学校区の各学校の児童生徒数推計
(S48 から R19 まで)

市は子どもたちにとってより良い教育環境の実現を図るため、クラス替えができるように、1学年に2学級以上あることが必要であると考えており、学校統合に向けた検討を進めています。

これまでの取組

R7.2	「小学校・中学校の適正規模等の基本的な考え方」の策定	小中学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方を示しました。
R7.4	PTA 役員への説明・意見交換	市の考え方を説明し、意見交換を行いました。
R7.5～7	アンケート調査	保護者、児童生徒及び地域の方を対象にアンケートを実施しました。
R7.9～10	第1回意見交換会	各小中学校で、アンケート結果を報告し、意見交換を行いました。
R7.12	第2回意見交換会	第1回意見交換会を踏まえ、中学校区全体で意見交換を行いました。

意見交換会

第1回意見交換会は、各小中学校で開催し、アンケート結果の報告とともに、「高森台中学校区の小中学校が適正規模や適正配置となるように検討を進める。」という市の考えを示し、意見交換を行いました。

第2回意見交換会は、高森台中学校区全体で開催しました。「高森台中学校区は中学校区内の小学校を統合した場合でも、令和22年度ではクラス替えができない学年があるため、課題の解決とはならないことから、隣接する中学校区を含めた学校統合に向けて検討を進める。」という市の考えを示し、意見交換を行いました。

〇主な質問と回答の要旨

Q1 今後の具体的な検討の進め方を教えてほしい。

A1 引き続き、高森台中学校区の保護者や地域の方と丁寧に議論を重ねていきます。その後、保護者や地域の代表の方、学校関係者などで懇談会を組織し、統合の必要性を含め、より具体的な内容について意見交換を行っていきます。

Q2 魅力ある学校づくりをすることで、地域の活性化を図ってほしい。

A2 魅力ある学校づくりとして、特色ある教育内容や小中一貫教育の導入などが挙げられます。地域の活性化につながるような、子どもたちにとって、また、地域にとって、魅力ある学校となるように検討します。

Q3 小中一貫校の導入について考えているか。

A3 今後、小中一貫校のメリット、デメリットを皆様に示し協議したいと考えています。

Q4 通学バスの検討について教えてほしい。

A4 今後、皆様と通学バスを導入するかどうかを含め検討していきます。
導入する場合は、運用方法などの具体的な検討を行っていきます。

Q5 仮に統合となった場合、子どもの家はどうなるのか。定員が心配です。

A5 子どもの家は、放課後の児童の居場所として欠かせないものであり、統合後の学校において運営していくことが望ましいと考えています。学校統合の検討を進めていく中で、担当部署と連携し検討していきます。

Q6 学校がなくなるのは寂しいが、仮に統合となった場合、学校跡地はどうなるのか。

A6 子どもたちの教育環境の向上を第一に考えて取り組んでおり、跡地については、統合の取組とは別に、市全体で検討を進めていきます。

Q7 小規模校の環境に不満がない。小規模校の方がきめ細かな指導をしてもらえるのではないか。

A7 小規模校のメリットとして、きめ細かな指導が行いやすいことなどがありますが、デメリットもあり、子どもの数が少ないことから、子どもの社会性を育てることが難しいこと、学校での人間関係が固定化されてしまうことなどがあります。



第2回意見交換会

※ 他の質問や回答は、右下のQRコードから意見交換会の会議録でご覧いただけます。

他中学校区の情報

石尾台	12月に第2回意見交換会を開催しました。今後、2月11日(水・祝)に保護者の皆様を対象とした意見交換会を開催します。
藤山台	11月に第2回意見交換会を開催しました。今後、3月1日(日)に岩成台中学校区と合同の意見交換会を開催します。
岩成台	11月に第2回意見交換会を開催しました。今後、3月1日(日)に藤山台中学校区と合同の意見交換会を開催します。
坂下	11月に第2回意見交換会を開催しました。現在は「坂下中学校区における学校統合に向けた基本方針」の策定を進めています。今後は2月9日(月)から3月11日(水)まで基本方針(中間案)に対する市民意見の募集(パブリックコメント)を実施する予定です。

学校の適正規模や適正配置に関する市の基本的な考え方やこれまでに実施した、アンケート結果及び意見交換会の会議録を市ホームページ(右のQRコード)に記載しています。

